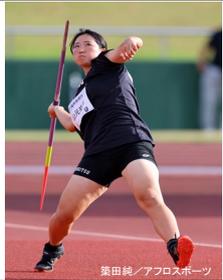


就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	やまもと ゆうき	性別	生年月日・年齢	
氏名	山元 祐季	女	2000年10月16日	
競技名／種別(種目)	陸上競技(やり投)		23 歳	
出身地	鹿児島県鹿児島市			
現住所	福岡県遠賀郡			
所属先	九州共立大学			
練習場所	九州共立大学 陸上競技場			
【選手プロフィール】				
■ 学歴・職歴				
年	月	学歴・職歴		
2019	3	鹿児島市立鹿児島女子高等学校 卒業		
2023	3	九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 卒業		
2023	4	九州共立大学大学院 スポーツ学研究科 入学		
2025	3	九州共立大学大学院 スポーツ学研究科 修了見込み		

■ 免許・資格

普通自動車第一種免許、中学校・高等学校教諭第一種免許(保健体育)、中学校・高等学校教諭専修免許(保健体育)取得見込み
 ビジネス文書実務検定3級、情報処理検定2級、商業経済検定3級

■ 国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	6	FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)	開催延期

■ 国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	4	第91回 日本学生個人選手権大会	やり投 優勝
2024	6	第93回 日本学生個人選手権大会	やり投 優勝
2024	6	第108回 日本陸上競技選手権大会	やり投 4位
2024	7	第64回 実業団・学生対抗陸上競技大会	やり投 2位

■ 自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私の強みは、責任感があるところと継続力だと自負しています。私は、高校では陸上部全体のキャプテンを、大学では投てき選手をまとめる投擲ブロック長を務めました。高校では、短距離が強い学校で、投擲の先生が存在していなかったため、技術的な部分ではなく、挨拶や返事、日常生活等、当たり前なところを徹底させることで、人間力を磨き、チーム力を向上させ、県大会の総合優勝50連覇を達成することができました。

また、大学においては、コロナウイルスの影響で、当たり前のレベルが低下していたことから、同級生の横の繋がりだけでなく、下級生との縦の繋がりを大切にコミュニケーションを図り、上下関係や種目の垣根をこえたチーム力を向上させ、全日本インカレでフィールド準優勝を果たすことができました。

また、私は4年生の5月に肩の怪我をし、競技継続を悩む程の挫折を初めて経験しました。しかし、私の目標である、日本一のために、手術を決断し、1年半のリハビリと練習を地道に1歩ずつ取り組みました。その結果、学生個人選手権大会では優勝、日本選手権では自己ベストを更新し、入賞を果たすことができました。

このように、陸上競技を通して、チームの長を務めることで責任感、挫折を経験した過程で継続力を獲得してきました。今後は4年後のロサンゼルス五輪へ出場し、上位入賞を目指し、コツコツと練習に励んでいく所存です。また、上記の能力は競技だけでなく、企業でも活かし、貢献できると考えております。そして、応援される選手となれるよう、人間力と競技力をさらに高め、競技と仕事の両立を図り、競技引退後も社員として企業様にさらに貢献したいと考えております。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	事務など資格が使えるような仕事を希望しますが、どのような職種においても責任を持って取り組みます。
②勤務地	九州
③勤務日数・時間帯	始業から13時まで週5日の勤務を希望します。また、合宿や遠征などのご配慮をいただけると幸いです。